

令和3年2月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

※ 傍聴のお知らせ ※

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、極力傍聴を控えていただき、インターネット中継をご覧ください。

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。
Yahoo! や Google などの検索画面から
[袋井市議会](#)を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ

携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

袋井市議会

一般質問通告議員

実施日	質問順	議員名	質問形式	ページ
3/2(火) 午前	1	村井 勝彦	一問一答	3
	2	森杉 典子	一括	4
3/2(火) 午後	3	浅田 二郎	一問一答	5
	4	伊藤 謙一	一問一答	7
	5	岡本 幹男	一括	9
3/3(水) 午前	6	高木 清隆	一括	11
	7	木下 正	一問一答	13
	8	竹野 昇	一問一答	14
3/3(水) 午後	9	近藤 正美	一括	16
	10	高橋 美博	一問一答	17
	11	寺田 守	一括	19
3/4(木) 午前	12	村松 尚	一括	21
	13	大庭 通嘉	一括	23

質問順序	1	議席番号	2	質問者	村井 勝彦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	小中学校の施設整備の取り組み 令和2年5月に「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（バリアフリー法）の一部が改正され、バリアフリー基準適合義務の対象が拡大し、公立小中学校が特別特定建築物として追加されたが、このことについて、今後、どのように対応していくか。 (1) 現在、小中学校において移動に配慮が必要な児童生徒及び教員の在籍状況と施設のバリアフリー化の状況はどうか。 (2) 小中学校施設のバリアフリー化に向けた施設整備計画の策定の考え方は。 (3) 教育施設等3Rプロジェクトが更新されたが、整備方針においてバリアフリー化に関してどのような方針となっているか。 (4) 災害時の指定避難所に指定されている小中学校施設のバリアフリー化をどのように考えているか。				教育長
2	市営駐車場の管理運営の取り組み 現在、市営駐車場は指定管理により管理運営されているが、駐車場を管理するに当たり、長期滞留車の対応をどのように考えているか。 (1) これまで市営駐車場に長期滞留車として扱った事例はあるか。 (2) 袋井市駐車場条例において、長期滞留車の対応に関する規定がないが、長期滞留車の対応に関しての規定等を制定する考えはあるか。				市長
3	今後の農業施策のあり方 2020年に実施された「農林業センサス」の結果の速報値が公表されたが、この結果を見た中で、本市の今後の農業のあり方などについて伺う。 (1) 本市の基幹的農業従事者及び農業経営体の実態はどうか。 (2) 耕作放棄地の実態と今後の見通しはどうか。 (3) 調査結果から、本市の今後の農業施策の方針はどうか。				市長

質問順序	3	議席番号	14	質問者	浅田 二郎
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	相談者に寄り添う生活相談を コロナ禍で、大変厳しい生活を強いられている方が増えている。年末・年始「生活相談」に同行した中で感じた問題点を中心に、相談対応・環境、生活保護行政などについて伺う。 (1) 本市の生活自立相談センター等での生活相談の状況は。 (2) 相談環境はこれでいいのか。 ア しあわせ推進課と社会福祉協議会との距離は問題では。 イ 相談者のプライバシーは守られているのか。 ウ 空調設備のない相談環境はひどいのでは。 (3) 生活保護における親族等への「扶養照会」について (4) 「生活保護は権利。ためらいなく申請を」をどのように徹底するのか。				市長
2	水道事業の健全化のために 水道事業における最大の問題点である遠州広域水道との契約水量について問う。 (1) 「遠州水道受水費低減への取り組み」とは何か。 (2) 経営悪化の最大の要因は、遠州水道との契約水量ではないか。 (3) 明らかに計画・将来予測の誤りであり、失政ではないか。 (4) 今後必要とする遠州水道からの受水量はどの程度か。 (5) 「低廉な水」の供給をどのように考えているか。 (6) 県企業局との協議はどうなっているか。				市長

質問順序	3	議席番号	14	質問者	浅田 二郎
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
3	個別最適化に関する実証事業について 個別最適化の学びのため、AI技術を活用したドリル教材についての実証研究が来年度も継続される。この事業の目的、成果、今後等について伺う。 (1) これまでの研究の成果、問題点と今後について、どのように考えられているか。 (2) この事業は、産業界からの要請が強いのではないか。 (3) 中央教育審議会の「中間まとめ」から「個別最適化された学び」が「個別最適な学び」に転換されたのはなぜか。				教育長
4	「4つの学園」について 昨年4月に4つの学園が開校され、幼小中一貫教育を実施していくということである。「4つの学園」とは何かを伺う。				教育長

質問順序	4	議席番号	12	質問者	伊藤 謙一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<p>自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みに関して</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大を一つのきっかけとして、各自治体におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進が本格化している。昨年の閣議決定では、行政手続きの抜本的なオンライン化やワンストップ化、手続きの簡素化、書面・押印・対面主義からの脱却、国・地方を通じたデジタル基盤の標準化、分野間でのデータ連携基盤の構築、オープンデータ化の推進などが実現すべき目標として挙げられている。人口減少及び担い手不足や、就労環境の現状を打開していく一つのソリューションとして、本項目を質問する。</p> <p>(1) 本市のDXを推進するため、全庁的な意識の共有をいかに図るか。また、脱ハンコへの取り組みや行政申請のオンライン化等の実例が早くも出ているが、多様化する自治体業務に対応できる横断的な組織体制や職員のITリテラシーの向上にどう取り組むか。</p> <p>(2) さまざまな手続きを今後オンライン化していくが、デジタルデバイドによって起こる、情報弱者への支援をどのように行うか。</p> <p>(3) 学校運営（教育部・学校）、自治会、消防組織（本署及び消防団）内でペーパーレス、業務の見直しや、脱ハンコに向けた取り組みを推進するよう市が積極的に働きかける必要性を感じるがどうか。行政の庁舎内の業務を対象にDX化を進めるのではなく、まちづくりとして住民の生活向上のため推進してほしい。</p> <p>(4) 先進自治体として、三重県の取り組みを紹介させていただきたい。2019年度に「スマート改革」を開始し、2020年度にはそれを「Smart Government」「Smart Workstyle」「Smart Solutions」という三つの項目に整理して、強いメッセージを発信している。本市で置き換えた場合、このような取り組みのメッセージを発信するのは、新設されるDX推進室が行っていくのか。</p>				市長

質問順序	4	議席番号	12	質問者	伊藤 謙一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
2	2 協同労働に関して 働く人が自ら出資して、事業の運営に携わる「協同労働（ワーカーズ・コレクティブ）」を実現する労働者協同組合法が昨年12月、成立した。介護や障がい者福祉、子育て支援、街づくりなど地域の課題に取り組む人たちが3人以上集まれば、官庁の認可は不要で、届け出をもって協同組合を設立できる。NPO等よりも簡単に設立でき、介護や子育てなどの分野で、働く人が自ら雇用機会を作り出す場の広がりや支援することが期待され、今後の多様な就労の機会創出や地域課題の解決につながると感じるために以下を質問する。 <p>(1) 本市の協同労働に関しての考えを伺う。</p> <p>(2) 本市は、ふくろい生涯現役促進地域連携協議会を立ち上げ、国の生涯現役促進地域連携事業を活用し、3 Days Worker's Office構想やTaskAru（タスカル）ネットワークという取り組みを行ってきた。本事業の課題の一つに、企業側の仕事の切り出しや労働条件が労働者に対してマッチしないことが挙げられる。協同労働であれば、労働者自らが出資しながら、働く環境づくりにも携われるとを感じるがどうか。</p> <p>(3) 本市の中でも、この協同労働の主旨に沿った、地域の取り組みや市民活動が存在している。しかしながら、残念なことに収益上成り立つ取り組みが少ないと感じる。例えば、ふるさと納税制度を活かし、モノの返礼品をコトの返礼品に変えて、ふるさとの協同労働を応援する仕組みができないか。</p>				市長
3	3 事業承継に関して 事業承継とは、会社の経営権や理念、資産、負債など、事業に関する全てのものを次の経営者に引き継ぐことである。現在、担い手不足や現状の新型コロナ禍のような先の見えない情勢を理由に、次の経営者に経営を譲らずに解散・廃業する経営者が増えている。言うまでもなく、地域の中小企業は地元経済になくてはならない存在であり、行政として何らかの取り組みが必要であると感じたため、以下に質問する。 <p>(1) 事業承継に関して、社会的な課題があると本市は感じているか。</p> <p>(2) 商工団体や金融機関とパートナーシップを組み、本事業に取り組む必要性を感じるがどうか。</p>				市長

質問順序	5	議席番号	13	質問者	岡本 幹男	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	浅羽海岸の防災対策と防潮堤の活用について <p>(1) 防潮堤建設の進捗状況と今後の建設工程はどうか。特に、袋井市施工部分の土盛りが未完成の湊地区と中新田地区の既存保安林の伐採や盛土材の確保などの見通しはどうか。</p> <p>(2) 海岸浸食は自転車道のある堤防の間近まで迫っている。静岡県の手ドバイパス事業は現地を確認する限り効果が限定的であり、特に同笠地区の海岸浸食が顕著である。静岡県と連携を取り、台風の襲来により自転車道の堤防が崩壊する前に、ダンプカーによる砂や土の運搬や海岸補強材の設置など事前保全的対策を取るべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 防潮堤が完成した場合、浅羽南地域の安全宣言をするべきと考えるがどうか。また、「袋井幸浦の丘プロジェクト」による活用方法や意見吸収を全市民的に発信、発展させるべきと考えるがどうか。</p>				市長	
2	空き家対策について <p>(1) 平成27年度に実施した「袋井市空き家分布調査」結果により、空き家発生の原因、分布などの地域特性、管理状況などをいかに分析しているか。本年度実施している自治会による簡易調査を踏まえ、今後の計画作成にどう生かしていくのか。また、特定空き家の指定はどうか。</p> <p>(2) 平成27年度の調査で判明した管理不良の141戸、倒壊の危険ありの44戸、計185戸のその後の対策実施状況はどうか。また、令和2年度の調査による上乗せ分にどう対処していくか。</p> <p>(3) 「ふくろいすまいの相談センター」の活用状況はどうか。また、空き家バンクの創設、民間事業者との連携など空き家の不動産市場での流通を図る施策は採れないか。</p>				市長	
3	教育・スポーツ施設などの更新、改修、修理について <p>(1) 浅羽中学校の改修工事では、中校舎跡地に大型の新校舎を建設し、旧南校舎跡地は将来施設一体型の小中一貫校の校舎を建設し得るものとしている。浅羽南小学校と笠原小学校の児童数が一定の基準に達した場合、統合する計画はあるか。そうした検討には、教育部局のみでなく地域の声を検討当初から反映させるべきと考えるがどうか。</p>				教育長	

質問順序	5	議席番号	13	質問者	岡本 幹男	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
3	<p>(2) 浅羽体育センター体育館は、潮風による腐食が進行し塗装工事が急を要する事態となっている。また、南側の調整池を兼ねた親水公園もロープが張られ、利用できない状態が1年以上継続している。これらの改修を急ぐべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 旧浅羽地区3コミュニティセンターのみ調理施設がなく避難所運営や料理を通しての地域づくり等に支障がある。この対策を問う。</p>				市長	

質問順序	6	議席番号	16	質問者	高木 清隆	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	シニア層が活躍する地域づくり シニアクラブの運営・活動も含め、元気なシニアの方々には、これまで培ってきた能力や経験を活かし、地域の担い手として活躍してもらいたい。 <p>(1) シニアクラブが直面している課題について、どう捉えているのか。</p> <p>(2) シニアクラブ、シニア層に求められる社会的な期待と役割とは何か。</p> <p>(3) シニアに期待する活動内容を世代別に分ける取り組みも必要ではないか。</p> <p>(4) 伴走型支援として、各コミュニティセンターにて事務的機能を担うことについてはどうか。</p> <p>(5) 行政においても、シニア層の社会的参加に関わる取り組みを全庁横断で取り組むことが必要ではないか。</p> <p>(6) 市内企業に対し、シニア層の活動支援に向けてのCSR活動の働きかけが必要ではないか。</p>				市長	
2	地域防災力の充実強化に向けて これまでの消防団を中核とした地域総合防災力の向上へ向けた取り組みを検証し、充実強化を図り、もって住民の安全の確保に資する取り組みが必要。 <p>(1) 平成25年12月、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が定められた。この法律をどう捉えているのか。</p> <p>(2) 袋井市消防団事業の改善方針に基づく、取り組みの効果と見えてきた課題は何か。</p> <p>(3) 消防団員の処遇改善、装備の充実に向けた考え方については。</p> <p>(4) 袋井市消防団の体制に関する中期的な計画策定が必要では。</p> <p>(5) 自主防災隊組織に対し、教育を受ける機会の充実、訓練課程の作成、情報提供等、必要な援助がされているのか。</p>				市長	

質問順序	6	議席番号	16	質問者	高木 清隆
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
2	<p>(6) 自主防災隊が所有する資機材の総点検が必要では。</p> <p>(7) 防災意識の定着に向け、どう取り組んでいく考えか。</p>				市長
3	<p>エコパに野球場の建設を エコパにおける新たな価値創造に向けては、公式野球場の建設が必要。</p> <p>(1) 愛野球場の現状と課題について。</p> <p>(2) 野球環境をどのように提供していくのかの検討が必要では。</p> <p>(3) エコパ圏域自治体を取り込んだ可能性調査に取り組む考えは。</p>				市長

質問順序	7	議席番号	4	質問者	木下 正
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	コロナ禍における市内公園の活用について (1) 公園は、現在どのように利用されているか。 (2) 公園に関わるさまざまな人たちによる公園ミーティングを提案する。 (3) 都市整備課と協働まちづくり課、スポーツ政策課が連携して、公園マネジメントによる“Play for all”を実現した公園づくりを進めてはどうか。 (4) 利用率の向上のため、公園マップをホームページでアップしてはどうか。				市長
2	コロナ禍における公共交通について (1) 市内を運行する公共交通事業者の経営実態を把握しているか。 (2) 市内を運行する公共交通事業者への今後の支援はどのようなものか。 (3) どまんなか袋井naviに公共交通マップを入れ、利用促進を図るのはどうか。				市長

質問順序	8	議席番号	5	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	都市計画の見直し 静岡県が見直しを行った「中遠広域都市計画における都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の中に、都市防災に関する都市計画の決定方針として、「頻発激甚化する自然災害に対応するため、災害ハザードエリアの開発抑制や立地適正化計画の強化など、災害に強い安全なまちづくりのための総合的な対策に取り組む」が入れられた。袋井市都市計画審議会において、県の方針が伝えられ、了承されている。				市長
	(1) 災害ハザードエリアとは、洪水ハザードマップで示されている太田川流域で想定し得る最大規模の降雨（24時間総雨量629.5mm）により堤防の決壊や越水が発生した場合に、浸水が想定される地域か。				
	(2) 最大浸水深のランクが色分けで示されている。赤色が5.0m以上、ピンクが3.0m以上～5.0m未満、橙色が0.5m以上～3.0m未満となっているが、都市計画審議会が頻発激甚化する自然災害に対応するため、災害ハザードエリアの開発抑制といている対象エリアは、橙色の浸水深0.5m以上～3.0m未満の区域も含まれるのか。				
	(3) 治水対策室、危機管理課、都市計画課、産業政策課は、この都市計画審議会の方針をどう受け止めているのか。				
	(4) 袋井市のマスタープランをはじめ、治水対策・防災対策・都市計画・産業政策において、この新しい方針が取り入れられるのか。マスタープランに書き入れられるのか。				
2	紙のリサイクルについて ごみ減量、中遠クリーンセンターの焼却炉延命が袋井市の大きな課題となっている。市内で廃棄物として出される紙類の大半は、リサイクルされていると思われるが、全てではない。全量資源としてリサイクルされれば、森林破壊防止、地球温暖化防止、SDGs（持続可能な開発目標）の理念に沿い、袋井市が目指す環境にやさしいまちづくりとなる。				市長
	(1) 事業所や学校などでシュレッダーにかけられた紙は、リサイクルされているかどうか、その実態を把握されているか。				

質問順序	8	議席番号	5	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
2	<p>(2) 家庭から市の指定ごみ袋に生ごみなどと一緒に入れられ、燃やせるごみとして中遠クリーンセンターに持ち込まれる雑紙が相当であると推定される。家庭や事業所、学校などの協力で、封筒・包装紙・メモ用紙・チラシ類・病院でもらう各種用紙など全ての紙類を、ごみでなく大切な資源としてリサイクルされれば、ごみ減量化・循環型社会・環境にやさしいまちづくりとなる。全ての紙類回収の具体的方法を検討されているか。</p>				市長
3	<p>市内各種施設の人事のあり方について</p> <p>(1) 各地域いろいろな人選のやり方があると思われるが、各種施設の施設長について、ふさわしい人選が望まれると思われるがどうか。</p>				市長

質問順序	9	議席番号	11	質問者	近藤 正美
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	ラグビーW杯2019のレガシー（遺産）について 1年半前、エコパスタジアムでラグビーW杯が開催された。小中学生の大会観戦、タグラグビーの普及、ホームステイやボランティアなど数々の市民参加のイベント等の実施で、大会気運の醸成やまちの国際化に寄与したことは周知のことである。 (1) 現在、この大会が産業興しのきっかけとなっているか。 (2) 大会後の市民の競技スポーツへの関心の高まりはどうか。 (3) この大会を契機とした人づくりや地域づくりは進んでいるか。				市長
2	民間の介護予防・高齢者支援の活動について 第9回健康寿命をのばそう！アワードの介護予防・高齢者生活支援分野で、市内事業所である「とれたて食楽部」と「Honey!ハニー!!」が厚生労働大臣優秀賞を受賞した。住民主体の通いの場と地場産品の移動販売が「食」でつながり、こうした活動により高齢者の心と体の健康と、地域の活性化につながることを期待され、さらなる進展が注目される。 (1) この活動に対する市の支援はどのようなものか。 (2) 住民と生産者と農産物直売所をつなぐ取り組みによる相乗効果をどのように考えているか。 (3) 「浅羽・笠原まちづくり協議会生活支援ネットワーク」との連携はどうか。				市長
3	緑茶によるインフルエンザ予防効果を茶業振興に活用 大人の緑茶の常飲がインフルエンザの罹患率を下げるという研究成果が、ある大学の研究者により報告された。既に以前から県内の小学生・高校生による調査でも、別の研究者により効果が発表されており注目される。緑茶の常飲の習慣は、茶業振興や健康づくりに役立つものと期待される。 (1) 市内の小中学生を対象とした実証実験に協力してみてもどうか。 (2) 予防効果の活用は、茶業振興にも一役買うと思うが、市の支援はどうか。 (3) 緑茶常飲の推奨が茶業者の生産量、住民の消費量や健康増進に貢献するものと期待されるが、どう認識しているか。				教育長 市長

質問順序	10	議席番号	15	質問者	高橋 美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	新型コロナウイルスに関する予算について 市は感染予防対策、経済的被害への支援、経済回復事業に対し、多額の予算を計上、執行してきた。その考え方について伺う。 <p>(1) 予算計上の基本の考え方、財源の種別から見た財政フレームはどうか。</p> <p>(2) 一般財源を活用した事業はどのようなものか。事業の中止・見直しなどで生まれた額はどれだけか。それをどう活用したか。</p> <p>(3) 被害状況・支援の必要性の把握と政策化は、適切に行われてきたか。</p> <p>(4) 実施事業の評価と課題・問題点はどうか。</p> <p>(5) 地方創生臨時交付金等を活用し予定していた事業を前倒ししたもの、新年度に予定していた事業で財源不足やコロナ対応のため延期・中止したものはあるか。</p> <p>(6) 本当に支援が必要な人に行き届いているか。</p> <p>ア 女性の非正規雇用者等、生活弱者への支援</p> <p>イ 困窮学生への支援</p> <p>ウ 中小業者、飲食業者への支援</p>				市長
2	自治体DX、ICTを活用したまちづくり事業について 菅政権は、ポストコロナに向けた社会構造の転換としてデジタル社会の実現を掲げ、デジタル庁設置などの準備を進めているが、さまざまな問題がある。本市もそれに沿った事業に、多額の予算を計上している。問題はないか伺う。 <p>(1) 国は、行政のデジタル化を急ピッチで進める計画だが、国民に開かれた議論が必要と考えるがどうか。</p> <p>(2) 政府は、マイナンバーカードの機能拡大などを盛り込んだ工程表を発表した。行き過ぎた情報の集約は、問題があると思うがどうか。本市の取り組みはどうか。</p>				市長

質問順序	10	議席番号	15	質問者	高橋 美博	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
2	<p>(3) 個人情報保護に問題はないか。流出の不安にどう答えるか。</p> <p>(4) 行政手続きのデジタル化・オンライン化のみでは、多様なニーズに対応できない。デジタルデバイドをどう解消するのか。</p> <p>(5) デジタル化による行政サービスのシステムの統一・標準化は、地方の独自性・多様性が失われ、画一化・中央集権化が進む危険が指摘されている。どう考えるか。</p> <p>(6) 政府の推進するデジタル化は、安倍政権以来の経済成長戦略の延長線上にあり、大企業、関係する産業に利益をもたらすものである。本市においても特定の企業の利益とならないよう配慮が必要と考えるがどうか。</p> <p>(7) 本市の具体的の取り組みについて</p> <p>ア 出向のICT推進担当専門官の雇用形態と仕事内容、勤務実態はどうか。</p> <p>イ 行政窓口のデジタル化を計画している業務はどのようなものか。</p> <p>ウ マイナンバーカードの取得促進の取組実績はどうか。</p> <p>エ RPA利活用促進は職員自ら行うとし、新年度研修、提案を行う。大変な業務量であり、専門性も必要となるが、問題はないか。</p> <p>オ オープンデータの活用状況と今後の可能性はどうか。</p>				市長	

質問順序	11	議席番号	8	質問者	寺田 守
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	平和都市宣言 市長が20年にわたる市政運営の中で残された業績の一つに、平成22年度に合併5周年を記念して制定した「核兵器廃絶平和都市宣言」がある。この宣言は、唯一の被爆国として核兵器の恐ろしさを伝えるとともに、世界の恒久平和を願うものとなっている。 (1) 市長を退任するにあたり、改めて市長がこの宣言にかけた思い、市民に遺す言葉について伺う。 (2) 本市には、活人剣碑、護国塔、浅羽佐喜太郎公碑など日清・日露、太平洋戦争と続く戦争の記念碑が存在する。いずれも市長在任中に記念行事が行われたが、これらの碑には、先人達の苦しみと平和への願いがあったと思う。市長はどのように感じられたか。 (3) 戦争にまつわる碑としては、忠魂碑が各所で建てられている。しかし今、遺族の高齢化や減少などにより、撤去取り壊しの話が各所で聞かれている。過去を忘れる者は同じ道を歩む、ともいわれる。憂慮すべき事態と思うがどうか。				市長
2	交通安全対策 園児・児童・生徒の通園通学路の安全性向上は、学校、家庭、地域にとっても重要課題である。新学期を前にして、通園通学路の安全対策について伺う。 (1) 通学路に指定されている道路で、路面標示がかすれ、見えなくなっている個所が散見される。新学期を前にして一斉点検し、必要などころには補修する作業が必要と思うがどうか。 (2) 保育園や幼稚園の園児が通う道路で、安全性向上のため、新たにキッズ・ゾーンが設定された。近年、保育施設が増加しているが、必要な周辺道路にはこの制度を使った安全対策を進めたらどうか。				市長 教育長
3	橋梁の点検 河川の多い当市には、多くの橋梁が架けられている。橋梁の点検、維持管理を進めていく上での指針について伺う。 (1) 沖之川下流、県道253号付近に架けられている沖之川橋には、進入を規制する工事用の柵が常時置かれている。規制の理由は何か、利用者への説明が必要と思うがどうか。				市長

質問順序	11	議席番号	8	質問者	寺田 守	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
3	(2) 同じく沖之川下流、袋井排水機場付近の宮ノ越橋は、点検の結果補修工事が必要とのことである。車両の通行が少なければ、歩行者専用道路とし、補修費用を抑えてはどうか。同橋梁は、廃止となった秋葉線のルートとして歩行者に楽しんでもらうこともできる。				市長	

質問順序	1 2	議席番号	1 7	質問者	村松 尚	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	人口減少、少子化対策 わが国は、急速に進む少子高齢化を背景に、東京圏への人口集中が日本全体の人口減少に拍車をかけ、また、合計特殊出生率の低下にも歯止めがかからない。 (1) 本市の人口ビジョンでは、合計特殊出生率2.07との目標が示されているが、現状はどうか。 (2) 他県、他市町への転出理由は、調査しているか。 (3) 働く世代や若年女性の安定した労働の場の開拓と今後の提供は。 (4) 本市への外国人の呼び込みについてどう考えるか。 (5) コロナ禍をきっかけにした働き方の変化による都市圏からの移住者への発信はどうか。 (6) 結婚の促進を目的として、市は家賃や引っ越し代等を補助する国の結婚新生活支援事業を活用する考えがあるか伺う。				市長	
2	治水対策の取り組み (1) 流域治水の考え方を県が管理する中小河川にも広げる方針が示された。市内では小笠沢川、蟹田川、沖之川が対象になるとのことだが、具体的な内容はどうか。 (2) 田町幹線排水路事業が今回示されているが、対象地域では小規模開発が進み、用地の取得が困難になることが心配されるが方針を伺う。 (3) 久能第二都市下水路改修事業について、今後の予定を伺う。				市長	
3	消防団員の確保の取り組み (1) 本市の5年前と今年度の全分団の団員数はどうか。 (2) 新年度に向け本年度の勧誘状況はどうか。 (3) 条例で定められている報酬の額は十分ではないと思うが、当局の考えはどうか。				市長	

質問順序	1 2	議席番号	1 7	質問者	村松 尚	
	質問事項・要旨（具体的な質問事項）				《一括》	答弁者
3	<p>(4) 本年度「消防団応援の店事業」を開始した。この事業を退団後、年数を限って延長する考えはないか。</p> <p>(5) 団員の在籍期間の自治会費や各種役員などの免除の考えはないか。</p>				市長	
4	<p>教育、子育て支援の考え方</p> <p>(1) 幼小中一貫教育の推進により中1ギャップなどによる不登校、いじめの件数は変化が見られたか。</p> <p>(2) 幼小中一貫教育推進の上で、市内二つの小学校の進学先が二つの中学に分かれている。現状をどう考えるか。</p> <p>(3) 認可保育所、小規模保育園の定員増を図ってきたが、来年度の待機児童数は改善されたか。保育士は不足していないか。</p> <p>(4) 近年は、放課後を学童保育で過ごさせたい保護者が増えている。放課後児童クラブの待機児童数はどうか。支援員等の不足はないか。</p>				教育長	

質問順序	13	議席番号	19	質問者	大庭 通嘉
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	原田市政20年の総括と引き継がれる課題について (1) 6回の選挙においてさまざまな公約を掲げて市政運営をされてきたが、公約は達成できたのか伺う。 ア 市長として実現できた公約の特筆すべきものは何だったか。 イ 市長として実現できなかった公約・事業は何だったか。 ウ 市長自身、自己採点をして20年をどのように総括されているか。 (2) 解決できなかった課題について、どのように引き継がれていくのか、その考え方、引き継ぎ方針を伺う。 ア 治水問題について、どのように引き継がれるか。 (ア) 蟹田川、彦島大橋の今後のスケジュールの考え方は。 (イ) 松橋川の改修の進め方は。 (ウ) 袋井駅南地区の治水対策の進め方は。 イ 産業振興と雇用の創出について、どのように引き継がれるか。 (ア) 企業誘致の公約は果たされたのか、また、企業誘致について、今後をどのように展望し引き継ぎをされるか伺う。 (イ) 3 Days Worker's Office構想をどのように総括され、引き継がれるのか伺う。 ウ 子育て施策について、どのように引き継がれるか。 (ア) 本市の特性とも言える公立幼稚園のあり方と、待機児童対策の進め方をどのように考えているか。 エ スポーツと健康について、どのように引き継がれるか。				市長

質問順序	13	議席番号	19	質問者	大庭 通嘉
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
1	<p>(ア) P F Iによりスポーツ施設管理料は大幅増となったが、具体的に総合体育館と総合健康センターの連携をどのように考えているのか伺う。</p> <p>(3) 勇退される原田市長が、後任市長に引き継がれる最後の令和3年度の予算編成で託される事業は、どのようなものか。</p> <p>ア 令和3年度の予算編成において託した事業とはどのようなものか。</p> <p>イ 後任市長の裁量に任せる財政措置は、どの程度見ているのか伺う。</p>				市長